

企画展 藍田正雄の江戸小紋 極小美の世界

会 期 2010年1月30日(土)～3月22日(月・祝)

遠目には無地のように見えるほど細かい文様で埋めつくされた江戸小紋。江戸時代に武士の袴に用いられて発達したとされ、型紙を使って糊で型付けし、染め上げたものです。単純な文様を鮮やかに染め出すには、職人の熟練した技術が必要です。群馬県指定重要無形文化財保持者で高崎市足門町に工房を構える藍田正雄（1940～）は、江戸小紋の技法を受け継ぐ職人のひとりです。難しいとされる「縞」の名手として知られ、これまでに文化庁長官賞や朝日新聞社賞などを受賞し、2008年には伝統文化ポークラ賞を受賞するなど、その確かな技は高く評価されています。伝統を受け継ぎながら独自の制作を続ける一方で、江戸時代の伊勢型紙による文様の再現や、海外での小紋染めの実演、さらには後進の育成と、その活躍は多岐にわたります。

本展覧会は、2008年度高崎市文化賞受賞記念として開催し、藍田正雄の代表作から新作までをご紹介します。得意とする「縞」をはじめ、復元した「深山染」や考案した「板引き空」など、熟練した“手の技”をご覧ください。

会 場 高崎市タワー美術館（370-0841 高崎市栄町 3-23 電話 027-330-3773）

時 間 午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）

金曜日のみ午前10時～午後8時（入館は午後7時30分まで）

休 館 日 月曜日（祝日は開館）、祝日の翌日

会期中の休館日：2/1・8・12・15・22、3/1・8・15

観 覧 料 一般：500円（400円）、大高生：300円（250円）

- ()内は20名以上の団体割引料金
- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方1名、65歳以上の方、中学生以下は無料となります

主 催 高崎市タワー美術館

後 援 朝日新聞前橋総局、産経新聞社前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎

関連事業

- 記念講演会 江戸小紋師・藍田正雄 2/20 14:00～
- 着物ではんなり鑑賞会 2/27 10:30～、14:00～
- 作品解説会 1/30、2/13、3/13 14:00～